

## 【英語】 < 中学校 第1学年 >

### 1 結果のポイント

「理解の能力の【聞くこと】」については、自然な口調で話された英語を聞いて、会話の場面や話題の中心などの概要や要点を聞き取る力をみる問題や具体的な内容を聞き取る力をみる問題の正答率が90%を上回っており、力が十分身に付いている。他方、相手の質問や依頼などを聞いて、その意図を理解して適切に応じる力は、十分身に付いているとはいえない。

「理解の能力の【読むこと】」については、いくつかの情報を整理して、内容を正しく読み取ったり、大まかな流れや大切な部分を読み取ったりする力をみる問題の正答率が70%を上回っており、ほぼ力が身に付いている。他方、会話の流れから話の展開を理解する力は十分でないため、状況に応じて適切な表現を選ぶ問題の正答率は60%を下回っているものがある。

「表現の能力の【書くこと】」については、会話の流れを考えながら、英文の構造を理解して、適切な英文を正しい語順で書く力をみる問題の正答率は、70%程度あるいはそれを上回っており、ほぼ力が身に付いている。他方、一つ的话题について、読み手を意識しながら、内容の事実関係や順序などを整理してまとまりのある英文を書く力は、十分身に付いているとはいえない。

### 2 結果の分析

#### (1) 大まかな内容を聞き取る力をみる問題の例

< 問題 > **3** ( テープ問題 )

会話を聞いて、質問に答えなさい。答えは、最も適切なものをア～エの中から一つ選び、その符号を解答用紙に書きなさい。会話は2回くり返して言います。

3 何について話していますか。

( 放送文 ) A: What do you do on Sundays?  
B: I play soccer with my friends. How about you?  
A: I play the guitar. I like music very much.  
B: That's nice.

ア 放課後の過ごし方について  
ウ 好きな音楽について

イ 授業の様子について  
エ 休日の過ごし方について

< 結果 > **3** の3 正答率 91% ( 正答...エ )

< 分析 >

この問題は、自然な口調で話された英語を聞き、その場面で使われる表現や会話の展開から、大切な部分を聞き取る力をみる問題である。**3**のすべての問題の正答率が90%を上回っていることから、場面を設定し、「どのような場面か」「何についての会話か」というような視点を提示して、場面や話題の中心を聞き取る指導や、「友達に自分の家族を紹介する」という場面設定を大切にされた言語活動が継続的に行われている成果と考えられる。例えば、**3**の3では、話題の中心となる What do you do on Sundays? という英文を正しく理解し、I play soccer ~. I play the guitar. という情報を手がかりにして、話題が「休日の過ごし方」であることを聞き取ることができたと考えられる。

#### (2) 話の流れを読み取る力をみる問題の例

< 問題 > **6** の2

次の文はジム(Jim)が自分のペンフレンド(pen friend)を紹介したものです。ただ、( )の部分がよく読めません。この部分をたずねるための質問として最も適切なものを下のア～エの中から一つ選び、その符号を解答用紙に書きなさい。

Hi. I have a pen friend in ( ). Her name is Mary. She likes dogs. She has a dog. She plays with her dog every morning. They are good friends.

ア Do you have a pen friend?  
ウ What is her dog's name?

イ Where does your pen friend live?  
エ Are you Mary's friend?

< 結果 > **6** の2 正答率 54% ( 正答...イ )

<分析>

この問題は、英文を読んで、前後の文脈から欠落した部分の内容を推測する力を必要とする。誤答としてみられたアでは、直前にある pen friend という単語から判断して選択しているが、in 以下が場所を表し、それが選択肢の where につながるものが十分理解できていなかったと考えられる。「聞くこと」のテープ問題①においても、会話の流れから話し手の意向を理解する力をみる問題の正答率が60%を下回っており、前後の文脈から内容を類推する力が弱いと考えられる。

(3) まとまりのある英文を書く力をみる問題の例

<問題> ⑧

あなたはカナダにいるペンフレンドに、友達のタカシ (Takashi) 君を写真入りで紹介することにしました。紹介したい話題を下の【話題】の中から一つ選び、3文の英文で解答用紙に書きなさい。

【話題】 ・スポーツ ・学校 ・友達 ・勉強 ・趣味

<結果> ⑧ 正答率 44%

<分析>

この問題では、伝えたい内容を自分で考え、整理して、読み手を意識しながら内容のつながりを大切に、まとまりのある英文を書く力をみる問題である。無解答が比較的多く、カナダにいるペンフレンドに友達を紹介するという場面で、友達のどのような点を伝えたいのかを自分でイメージすることができなかつたと考えられる。また、誤答例については、He plays tennis. He likes dogs.のように話題の一貫性がない例が多く見られ、伝えたい内容を整理し、読み手によりよく伝わるように工夫して適切に表現する力が十分身に付いていないと考えられる。

3 分析を踏まえた指導の改善

(1) 指導計画の工夫改善

- ・3年間を通じて、音声によるコミュニケーション能力を一層重視しながら、「読むこと」や「書くこと」の領域の指導の充実を図りたい。そのため、3年間を見通して、「読むこと」の言語活動「エ 伝言や手紙などから書き手の意向を理解し、適切に応じること。」や「書くこと」の言語活動「ウ 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと。」を扱う単元を計画的に設定するとともに、単元の終末に話したことを書きとめる時間を位置付ける等工夫したい。

(2) 指導方法の工夫改善

- ・音声による【聞くこと】【話すこと】の言語活動においては、自分の考えや気持ちを正しく相手に伝えるために適切に表現を選択したり、語句や文の意味を正しく聞き取る力を付ける指導を継続していくことが大切である。他方、具体的な場面や状況を設定した言語活動や、課題解決的な言語活動を位置付けることにより、例えば、Do you have a watch? という問いかけに対して、Yes や No で答えるだけでなく、Well, it's about five. と答えるなど、場面や状況から相手の意向を汲み、言語形式によらないで適切に反応する力を付ける指導が大切である。このことは、「理解の能力の【読むこと】」についても同様である。また、言語活動における生徒の姿を見届け、一人一人の学習状況に応じて、適切に反応する力が付くよう手だてを講じる必要がある。
- ・「理解の能力の【聞くこと】【読むこと】」については、授業において、ある程度分量のある英文に触れさせる中で、概要や要点をつかむことを大切にしながら指導をしていくことが今後も望まれる。
- ・「表現の能力の【書くこと】」については、教科書の話題についてばかりでなく、生徒の興味・関心に即した題材を取り上げながら、「誰に対して、何のために」というような読み手や書く目的を明確にし、内容を自分で考えて整理し、相手に伝わるように事実関係や順序を考えて書くような言語活動を工夫することが大切である。その際、生徒が選択したテーマ別に学習集団を編成して少人数指導を行うなど、個に応じたきめ細かな指導方法の工夫も十分に考えたい。

(3) 学習環境の工夫、学習集団の育成等

- ・「聞くこと」についての課題である「相手からの質問や依頼など英語で話しかけられている内容を正しく理解し、それに対して、話し手の意図を理解し、適切に応じる力」を付けるために、授業において、ペアやグループなどの学習形態を工夫し、実際に英語を使って意向を伝え合う場をできるだけ多くもつことが必要である。また、生徒も教師も常に英語を使って積極的にコミュニケーションをしていこうとする雰囲気のある学習環境を実現することも大切である。
- ・「具体的な内容や大切な部分をとらえて理解する力」をより伸長するために、Authentic な教材を工夫したり、ALT等を積極的に活用し、自然な口調で話されたり読まれたりする英語に触れる機会を大切にしながら指導を継続、充実していくことが大切である。